

## 第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画の 策定に向けた事業所ヒアリング調査

本市では現在、令和6年度から令和8年度を計画期間とする第7期障がい福祉計画及び第3期障がい児福祉計画の策定に向けた作業を進めております。

つきましては、計画策定の基礎資料とするため、日頃から障がい福祉に携わるサービス提供事業者の皆さまより、サービスを実施する上での課題や、今後の方向性などについてお聞かせいただきたいと考えております。大変お忙しい中、誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

令和5年(2023年)6月 吹田市

- 質問への回答は、次のアドレスまたは二次元バーコードからインターネットを通じて回答してください。

[https://enquete.cc/q/suita\\_d](https://enquete.cc/q/suita_d)



- あてはまる選択肢を選ぶものや、記入欄に自由記述するものなどがあります。質問文をよく読んでお答えください。
- 本調査の目的以外で利用することはありませんので、できるだけ詳しくご記入ください。
- 法人または事業所ごとに回答をお願いします。
- 回答に当たっては、以下のことについてご留意ください。
  - ご意見の提出は任意です。必ず提出しなければならないというものではありません。ご意見がある場合に提出いただければ結構です。
  - ご意見に対する応答は致しませんので、あらかじめご了承ください。
  - 回答方法は原則Web回答のみとします。本調査票を直接返送しないでください。
- お忙しいところ恐縮ですが、ご回答は**6月30日(金)まで**にお願いいたします。

### 【問い合わせ先】

吹田市 障がい福祉室 (計画担当) 瀬村、村島

電話：06-6384-1349 (直通)

FAX：06-6385-1031

メール：[keikaku-shogai@city.suita.osaka.jp](mailto:keikaku-shogai@city.suita.osaka.jp)

吹田市 子育て政策室 (発達支援担当) 湊崎、藤田、越智

電話：06-6170-7224 (直通)

FAX：06-6368-7349

メール：[jidoushien@city.suita.osaka.jp](mailto:jidoushien@city.suita.osaka.jp)

## 問1 はじめに、貴法人（事業所）の名称をお答えください。

法人名	
事業所名	

## 問2 現在、どのようなサービスを実施していますか。（法人として回答する場合は、あてはまるものをすべて選ぶ）

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1 居宅介護        | 16 共同生活援助      |
| 2 重度訪問介護      | 17 施設入所支援      |
| 3 同行援護        | 18 計画相談支援      |
| 4 行動援護        | 19 地域移行支援      |
| 5 重度障がい者等包括支援 | 20 地域定着支援      |
| 6 短期入所        | 21 日中一時支援      |
| 7 生活介護        | 22 移動支援        |
| 8 療養介護        | 23 児童発達支援      |
| 9 自立訓練（機能訓練）  | 24 医療型児童発達支援   |
| 10 自立訓練（生活訓練） | 25 居宅訪問型児童発達支援 |
| 11 自立生活援助     | 26 放課後等デイサービス  |
| 12 就労移行支援     | 27 保育所等訪問支援    |
| 13 就労継続支援[A型] | 28 障がい児相談支援    |
| 14 就労継続支援[B型] | 29 その他（ ）      |
| 15 就労定着支援     |                |

## 問3 主な対象者はどなたですか。（あてはまるものをすべて選ぶ）

- |          |              |
|----------|--------------|
| 1 身体障がい者 | 4 障がい児       |
| 2 知的障がい者 | 5 発達に課題のある児童 |
| 3 精神障がい者 | 6 その他（ ）     |

問4 自らの法人（事業所）の人材確保の状況についてお答えください。（どちらか選ぶ）

1 予定どおり確保できている

2 予定どおりには確保できていない

問4-1 人材確保のための以下のそれぞれの取組について、どの程度できたものと評価しますか。  
(それぞれあてはまるものを1つ選ぶ)

① 専門性を高めるための研修の実施

- 1 満足いくほどできた
- 2 満足まではいかないが取り組めた
- 3 取組には至っていない

② 多職種間（相談員、ヘルパー、医療職など）の連携の推進

- 1 満足いくほどできた
- 2 満足まではいかないが取り組めた
- 3 取組には至っていない

③ 多様な方法による積極的な採用活動

- 1 満足いくほどできた
- 2 満足まではいかないが取り組めた
- 3 取組には至っていない

問4-2 問4-1で「満足いくほどできた」と1つでも回答した法人（事業所）は、満足な結果が出た要因として、どのようなことが考えられますか。あるいは、どういったことをねらって、取組を進めましたか。

問4-3 問4で「予定どおりには確保できていない」と回答した法人（事業所）は、どういった要素があれば、より人材確保が進むと考えますか。

## 【参考資料6】

問5 重度障がい児・者等の受入を行っていますか。(どちらか選ぶ)

※ここでの「重度障がい児・者等」とは、障害支援区分5もしくは6に該当する障がい児・者等、または医療的ケアを要する障がい児・者等とします。

1 はい

2 いいえ

問5-1 問5で「いいえ」と回答した法人（事業所）は、その理由を教えてください。

問6 重度障がい児・者等の受入を促進するためには、どういったことが必要と考えますか。

問7 障がい児・者等がよりよい生活を実現していく上で必要なことがあれば、記入してください。

調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。